令和４年度　第２回車両安全対策検討会
令和４年１１月２日
安全－資料６

第7期ASV推進計画について

令和4年11月2日

第７期ASV推進計画の検討テーマ

2021年度より5カ年の第7期ASV推進計画を実施

第7期ASV推進計画の基本テーマ

「自動運転の高度化に向けたASVの更なる推進」

① 誰もが使用する技術となったASVの正しい理解・利用の徹底と効果的な普及戦略

② ドライバーの操作に対してシステムの操作を優先させる安全技術のあり方の検討

③ 通信・地図を活用した安全技術の実用化と普及に向けた共通仕様の検討

④ 自動運転車が備えるべき安全の範囲・水準の探索のための考察

第７期ASV推進計画の体制

◆ 第7期ASV推進計画は、必要に応じて、会議体間の連携をとりながら、以下の体制により推進中。

ASV推進検討会
（学識者、自動車メーカー、業界団体、関係省庁）

座長：
東京大学 須田 教授
副座長:
筑波大学 稲垣 特命教授

先進安全技術普及分科会

普及戦略検討WG
- ASV技術を取り巻く状況の変化と現状の課題の整理
- 既存の技術の周知内容・方法の検討

事故実態分析WG
- 事故状況の分析
- 事故の実態等を踏まえ、ASV技術により防ぐべき事故を明確化

※時限的な設置を想定

将来技術実用化分科会

システム主導検討WG
- システム主導の技術が安全に寄与する場面の整理
- 場面ごとのシステムの認知・判断・操作のあり方についての技術要件と課題

協調型技術検討WG
- 協調型技術への活用に適切な場面の整理
- 通信・地図などを活用した安全技術の技術要件と課題

自動運転車のあり方検討WG
- 自動運転車が満たすべき安全性の理念の検討
- 自動運転車であっても不可避である事故の分類やその際のふるまいの検討

システム主導検討WG

進捗状況

- 第6期ASV推進計画の申し送り事項であるドライバー異常時対応システム（EDSS）の車外報知性の改善について、実験内容を検討

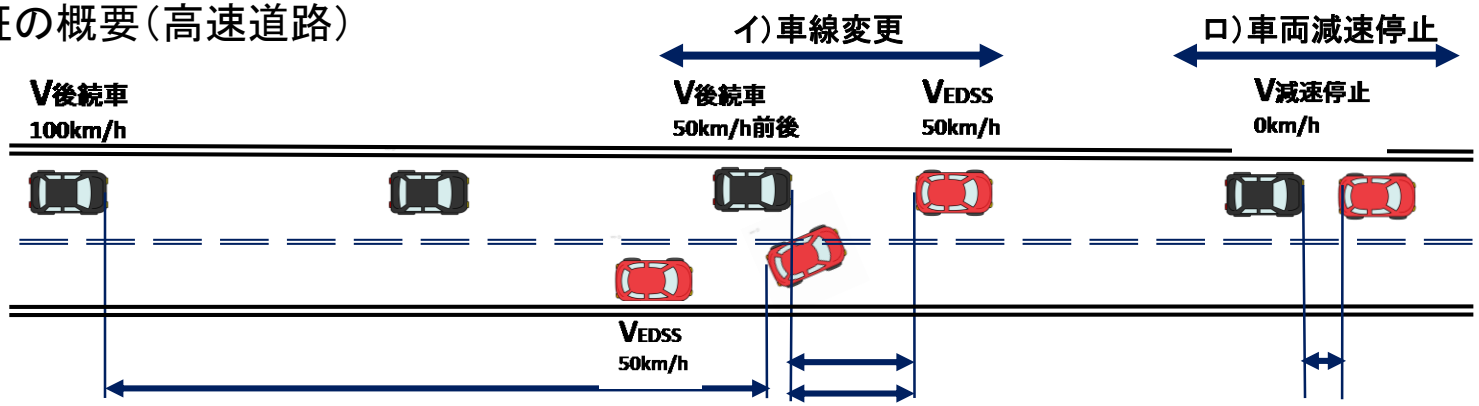
第6期ASV推進計画における次期ASVへの申し送り事項　（第6期報告書抜粋）

4.6.2　次期ASVへの申し送り事項
具体的には下記2項目について検討することを申し送る。

（1）現状使用可能な報知方法の効果検証
文字表示、あるいは制動装置を操作している場合の制動灯点滅による視覚報知等、基本設計書に既に規定のある各報知方法の効果検証

（2）効果的な新規報知方法の検討
法規制約・背反リスクを勘案した新たな報知方法の検討

実験検証の概要（高速道路）



- EDSS車が車線変更、減速停止工程における、後続車への報知向上効果について検証
- 報知方法の例として、非常点滅表示灯や制動灯の高速点滅や左右非同期点滅が考えられる
- 具体的な実験条件については検討中